天体観測 世代や国超えて

縦山　淳司さん 61

（大阪市住吉区）

元気印

星の観察が大好きで「関西で星を学ぶ会」を主宰しています。一見何もない夜空も、天体望遠鏡で見上げると、宝石をちりばめたように美しく、言葉を失うほどです。

小学3年の時にいとこからもらった望遠鏡で星を見てはまり、高校生でいったん離れましたが、子どもが小学生の時、夏休みの宿題で一緒に天体観測をしたのをきっかけに再燃しました。ともに学び楽しむ仲間を作ろうと2013年に会を設立、9人で活動しています。

仕事や子育てが一段落したリターン組も多く、望遠鏡は以前より手軽に入手できるようになりました。宿泊施設付き天文台も各地にあります。最初はプラネタリウムがお勧め。宇宙を学ぶことで地球の大切さが再認識でき、世代も国籍も関係なく、共通の話題になります。

講座や観察会も開いています。2月21日午後2時から、大阪市立難波市民学習センターで「宇宙のおはなしと望遠鏡講座」、3月28日午後6時半から、大阪市立苅田南小学校で天体観察会「木星、月を見よう」を開催します（いずれも要予約）。自分の目で見る星空は格別です。詳しくは、学ぶ会ホームページ（https://sites.google.com/view/kansaidehoshi）をご覧ください。

＊「元気印」次回は2月17日に掲載予定です。

「わいず倶楽部」〒530・8551　読売新聞大阪本社
電話06・6366・2338（土日祝除く10:00～17:00）
ファクス06・6366・2346 Eメールcontact@ysclub.jp